

お客様とのコミュニケーションを大切にしています。  
 ゴルフに挑戦したいです。



ながみね あゆみ さん  
 【片塩・23歳】

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。  
 今回は、4月からゴルフ場に勤務している、永峯あゆ実さんに、お話をうかがいました。

◆ どのような仕事をされていますか？  
 ゴルフ場のレストランと喫茶室を任されています。レストランでは、オーダーを取ったり、配膳をしています。お客様へ、丁寧に対応するように心掛けています。また、笑顔絶やさぬようにしています。

◆ 今の仕事を選んだ理由は何ですか？  
 人と接することが好きなので、やりがいを感じています。いろいろな人と、かかわれて、とても楽しいです。また、知人がキャディをしていたので、興味を持ちました。一緒に働いている人達も優しいです。

◆ 休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか。  
 趣味は、ウインドーショッピングと旅行です。洋服が好きなので、洋服をよく見ま



◆ 旅行は、東京へ出かけます。お台場の夜景は、とてもきれいでお勧めです。

◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか。  
 中野市は、キノコというイメージが強いです。自然が豊かで、農産物が豊富だと思っています。果物が、おいしく、特に、リンゴが好きです。

◆ 今後の抱負をお願いします。  
 ゴルフのことを勉強して、お客様との話題が増えればいいと思います。まだ未熟ですが、先輩からアドバイスをいただきたきながら、頑張っていきたいです。

広報クイズ  
 ■今月のプレゼント  
 月の兔ボールペン  
 ……5名

問題  
 第47回中山晋平記念  
 音楽賞入選曲  
 ●曲が決定しました。



クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、口ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。  
 締め切り 11月25日(木)必着  
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

383-8614 中野市三好町一丁目  
 3番19号  
 中野市役所  
 庶務課秘書広報係  
 住所・氏名・年齢・電話番号  
 切手

# 継承 中野が誇る伝統文化

第30回 盆栽士 阿藤衛 さん

盆栽とは

鉢の上に自然の大木を縮尺し再現する盆栽。剪定をはじめ、枝を針金で固定して屈曲させるなど、さまざまな技巧を楽しめます。替佐区在住の阿藤さんが盆栽と出会ったのは、約50年前。仕事で東京にいた阿藤さんは、自然の変化による四季の移り変わりを感じられない日々を過ごすうちに、ふと田舎の自然を思い出し身近に植物を置いておきたいと思つたことがきっかけでした。阿藤さんの作品は専門誌で紹介されることも多く、また、世界に誇る盆栽芸術の粋を集めた「国風展」に入選するほどの腕前で、自宅の専用スペースに並べられた200鉢以上の盆栽は、道すがら鑑賞することができます。

盆栽の魅力とは

家の中で飾れる事ですね。盆栽は山水・風物などの眺め作り、無地の壁の前に置いて正面中心から見た、特に枝間から登る太陽や月の風景、また、厳しい風が一方から吹きつける吹き流し樹形、雪に耐えて険しい崖にしがみつき一生懸命に生きる先に滝が見えたり海が見えたりと、旅先で見た壮大な自然を思い出させてくれます。これこそが盆栽の魅力であり、そんな盆栽を作りたいと常に頑張っています。盆栽には根張り、コケ順、枝配りがあり、根張りは大地に八方根が張った様子、コケ順は幹が上部に行くにつれて自然に細くなつていく様子、枝配りは幹から出るそれぞれの枝の向き、太さ、細さなどのバランスです。これもまた、盆栽の魅力と言えるでしょう。皆さんへのメッセージ



▲国風展に入選した作品「米梅」と並ぶ阿藤さん

種類は問いませんが、限りある人生を充実させるために、歳をとつても楽しめる趣味を持つことは非常に大切だと思います。また、我が家の盆栽を一目見たいという方はぜひ、気軽にお立ち寄りください。

## 健康第一で 人の役に立ちたい



平岡小学校 6年 宮本 茉依 さん

私には、「〇〇になりたい」という夢は、ありません。でも、「こうなったらいいな」というのはあります。それは健康第一で人の役に立ちながら生きていくことです。

まず、「健康第一」というのは、誰もが望むことだと思います。だって病気がかかったら大変だし、悲しい思いをするのは結局自分



菅沼 良太 さん  
 (会社員・新保)

- ①自己紹介  
 休日は友人と遊んだり、スノーボードや釣りを楽しんでいます。また、消防団としての活動にも積極的に取り組んでいます。
- ②今後チャレンジしたいこと  
 仕事の関係で職業訓練校にも通っていますが、早く技術を磨き、現場や会社の先輩の役に立てるようになりたいと思います。
- ③これからのまちづくりに望むこと  
 最近、進学や就職で地元を離れたまま戻らない若者が多いので、ぜひ大勢の若者が地元に戻ってきたくるような、楽しく活気に満ちた街にしたいと思います。

です。そう考えると、健康は大切だと思います。もう一つの「人の役に立ちながら生きていく」というのは、自分自身、人の役に立つことが好きだからです。この二つがそろった人は、私のあこがれです。大きくならなりたいです。もし、今言った人のようになれたら、いっぱい人の役に立てて、いろんな人に喜んでほしいです。だから、これからは進んで人の役に立ち、早ねをこころがけ、かぜをひかないようにして、夢を確かなものにしていきます。



No.67